

審査結果報告書

2020 年 1 月 7 日

主 査 氏 名 隈元雄介



副 査 氏 名 青山直善



副 査 氏 名 井上優介



副 査 氏 名 吉田 功



1. 申請者氏名 川口 佑輔
:

2. 論文テーマ : Failure Factors to Reach the Blind End Using a Short-Type Single Balloon Enteroscope for ERCP with Roux-en-Y Reconstruction: A Multicenter Retrospective Study
(Roux-en-Y 法再建患者に対する short type single balloon enteroscope を用いた初回 E R C P における到達不成功因子の検討 multicenter retrospective study)

3. 論文審査結果 :

【論文の意義】

この学位申請論文は、術後再建腸管に対する小腸鏡を用いた内視鏡治療の治療成績を後方視的観察研究として多施設共同で行ったものである。その有効性や安全性はこれまで単発的な報告例でのみで示されていたが、この論文は、多くの症例数を含んでいる点、また内視鏡施行医の技量が一定の基準を超えている医師で行われたものである点など、本編のデータの持つ意義は大きい。

【論文の内容】

筆者は、この論文の中でこれまで曖昧であった到達不成功の原因の一つが、胃切除をしていないことであることを明らかにするとともに、そのような症例でも、ファイバー長が長いタイプの小腸鏡であれば、高い確率で到達できることを明らかとした。また、合併症の発生症例の検討により、その安全性を示すとともに、合併症発生危険因子として腹膜播種を同定した。これらの結果から、適応の限界に関しても考察されており、将来展望も含め、今後の臨床を行う上で、大変示唆に富む業績と判断した。

【発表&質疑】

プレゼンテーションでは、背景、目的、結果、考察をととても分かりやすく発表され、審査委員からの質問に対しても的確に返答されていた。

【結果】

全員一致で学位取得に十分な業績と判断した。